

## 【レジюме (フランス語論文)】

### **L'entrée en scène de Vautrin le diabolique dans l'œuvre de Balzac**

(『仏文研究』第32号、2001年、pp.43-68)

Kyoko MURATA

本論文では、『人間喜劇』の中でも最も悪魔的な存在であるヴォートラン (Vautrin) がどのように描かれているのか、「悪魔との契約」の本質とはどのようなものなのかを、ヴォートランのルーツとも言える二人の登場人物 (Argow, Ferragus) の分析を通じて明らかにした。その結果、社会から疎外された存在が体制の綻びから社会に入り込み、権力を手に入れようとする時、体制側からは「悪魔的存在」とみなされること、そして「悪魔との契約」とは、こうした「悪魔的存在」が神に代わって他者の肉体と魂を自由に操り、他者を介して自らの野心を満たすことを意味していると結論づけた。